

福祉学習を開催しました

令和6年12月24日

仙台市若林障害者福祉センター

去る令和6年12月19日(木)、仙台市立遠見塚小学校体育館にて福祉学習を開催し、3年生72名の児童の皆様に、障害者福祉センターの紹介や車いす体験を行いました。

また、障害当事者の方からの講話として、仙台市障害者相談員をお招きして、日常生活の様子についてお話をさせていただきました。

質問コーナーでは、講師が車いすに乗っている様子や半身麻痺であるというお話を聞いて、「洋服を着る時はどうしていますか」「(自室が2階にあると聞いて)階段の昇り降りはどうしていますか」「寝る時はどうしていますか」など、自宅でどのように過ごされているのか、たくさんの質問が挙がりました。

また、体験後の感想発表では「自分のおじいちゃんが車いすで生活しています。おじいちゃんや車いすに乗っている人の気持ちが少し分かった気がします。」「車いすを押すのも乗るのも初めて。車いすに乗っていると、いつもより(目線が)低く感じて怖かった。」などの感想が聞かれました。

質問や感想から皆さん一人ひとりが講話や体験を通して、障害のある方の生活について関心をもっていただくきっかけ作りができたのではないかと思います。

今後も、地域社会との連携を深めていくとともに、当センターで企画する福祉学習が、障害理解促進の一助となれるよう努めてまいります。

